

2015
版

安全報告書

～安全への取組～



平成28年9月

一畑電車株式会社



も く じ

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

社長ごあいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(3)

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

(2) 2016年度安全目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(4)

3. 輸送の安全の実態(2015年度の事故等発生状況)

(1) 鉄道運転事故・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(2) 輸送障害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(3) 災害・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(4) インシデント・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(5) 行政指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

4. 安全重点施策の内容

(1) 安全重点施策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(5)

(2) 修繕費・設備投資額・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(3) 社員教育・訓練・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(6)

(4) 安全対策委員会及び幹事会の活動・・・・・・・・・・(9)

5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(10)

(2) 各管理者の役割・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(10)

6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力ください・・・・・・・・・・(11)

(2) 線路でのいたずら防止にご協力ください・・・・・・・・(12)

(3) 踏切監視カメラの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(12)

(4) AED(自動体外式除細動器)の設置・・・・・・・・・・・・(13)

(5) 防犯カメラの設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

(6) ホーム上の安全確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

(7) こども110番の駅・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

(8) ご意見箱の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(13)

7. お問い合わせ先・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・(14)

1. 利用者はじめ地域の皆様へ

平素より、当社鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本報告書は、鉄道事業法に基づき、各事業年度における安全の取組の実績、その他安全に関する情報について、公表するものでございます。

2015年度、弊社におきましては、役職員全員が社内に制定する安全の確保を最優先とする安全基本方針に基づき輸送の安全確保に努めると共に、一畑電車沿線地域対策協議会様との連携を密にし、安全に関わる設備改善を

2011年度から始めました「一畑電車支援計画」に基づいて積極的に行いました。その結果、鉄道運転事故（有責事故）「0件」、インシデント（事故の兆候）「0件」を達成することが出来ました。

今後も有責事故はもちろん、インシデントを始めとするあらゆる事故の発生を防止し、併せて近年増加傾向にある自然災害に伴う輸送障害に備え、お客様が安心してご利用いただける交通機関を目指して更なる努力を怠りません。

この報告書を是非ご覧いただき、ご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。



一畑電車株式会社

代表取締役社長 吉田伸司

2. 安全確保に関する基本方針と目標

(1) 安全基本方針（行動規範）

当社の基本方針は、「安全・安定的な輸送サービス」を提供することを第一義とし、社長以下全社員に対して次のとおり安全に係わる行動規範を定め周知・徹底を図っています。

- ①安全の確保を最優先とし、一致協力して輸送の安全確保に努めます。
- ②輸送の安全に関する法令及び関係する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- ④職務の遂行に当たり、憶測に頼らず確認の励行に努め、疑いのある時はもともと安全と思われる取扱いを行います。
- ⑤事故又は事故のおそれのある事態、災害、その他輸送の安全確保に支障を及ぼすおそれのある事態が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、相互に協力して速やかに安全かつ適切な処置をとります。
- ⑥安全に係わる情報は、迅速かつ正確に関係箇所に伝え、その共有化を図ります。
- ⑦常に問題意識を持って行動し、業務の見直しが必要な場合は、積極的に対処します。

(2) 2016年度安全目標

当社においては2016年度安全目標を次のとおり定めています。

項目	内容
鉄道運転事故	有責事故を発生させない
インシデント（事故の兆候）	発生させない

3. 輸送の安全の実態（2015年度の事故等発生状況）

（1）鉄道運転事故

2015年度、運転事故は踏切障害事故が2件発生致しました。

（2）輸送障害（30分以上の遅延または運休）

2015年度、弊社における輸送障害は、車両故障による障害が6件、台風による運休が1件、風雪による送電障害が1件、踏切内で自動車が脱輪し遅延が1件発生致しました。ご利用者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

（3）災害（地震、風雨等による被害）

2015年度、弊社における災害による事象はありませんでした。

（4）インシデント（事故の兆候）

2015年度、インシデントは発生しておりません。

（5）行政指導

2015年度、中国運輸局により保安監査が実施され改善を要する事項を指示されました。この事項については原因究明と再発防止を施し改善を講じています。

4. 安全重点施策の内容

（1）安全重点施策

2011年度から沿対協の補助体制が変わり、2020年度までの10年間にわたる長期支援計画を策定し5年が経過しました。これまでの事業の効果の検証として、安全性の向上及び車両の乗り心地の向上の改善がみられました。また安全輸送設備等事業費補助金による設備投資を含め、安全に係わる投資は次のとおりの結果及び計画です。

項目	2015年度実績	2016年度計画
線路側溝改築	172m	—
道床交換	2,360m	1,568m
継目落対策（継目マクラギ挿入）	274本	73本
支持物改良（CP柱化）	11本	22本
吊架線更新	12,574m	4,653m
配電線OC線化	3,159m	—
列車集中制御装置	5箇所	9箇所
列車無線設備更新（車上局）	3台	6台

電車線更新	776m	640m
道床つき固め	3,660m	3,900m
車両更新	2両（中古車）	2両（新造単車）

（2）修繕費・設備投資額

2015年度沿対協による基盤設備維持補助金は、1億1,909万円、安全輸送設備等事業費補助金は、5億3,044万円でした。



（支持物改良工事）



（道床突き固め工事）

（3）社員教育・訓練

2015年度安全に係わる教育及び訓練は次のとおりです。

添乗教育、運転取扱教育、異常時対応教育、定期考査及び法令教育等の教育を行いました。訓練につきましては、毎年参加しておりますJR西日本米子支社様との合同訓練をはじめ、社内総合事故対応訓練、消火訓練、AED 取扱い講習、新人運転士教育を実施いたしました。その他の取組といたしましては、全従業員を対象とした、普通救命講習を実施いたしました。



（社内総合事故対応訓練風景：車両火災訓練）



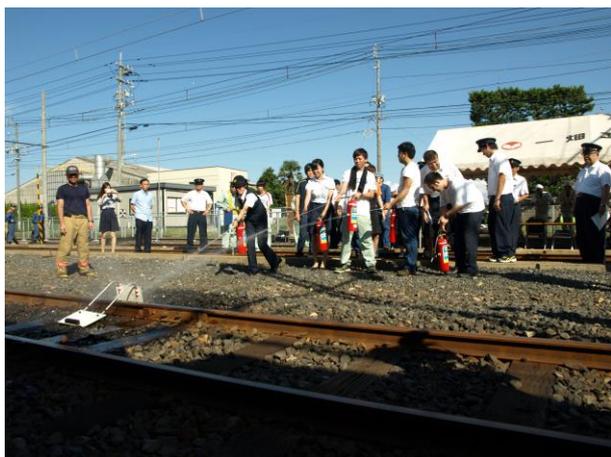
(社内総合事故対応訓練風景)



(JR西日本米子支社合同事故対応訓練風景)



(公共交通機関等テロ対策協議会：BC 対処訓練)



(消火訓練)



(AED 取扱講習)



(安全対策講習会：施設課)



(指差確認)



(ジャッキアップ教育)



(車両課講習)



(年末年始職場会：運輸課)



(実施訓練：連結解放)

(4) 安全対策委員会及び幹事会の活動

事故の未然防止を目的として、自社及び他社で発生した事故事例または、ヒヤリハット事例を教材として、社長以下管理職で構成した安全対策委員会を毎月1回開催いたしました。また、この下部組織として現場係員を中心とした幹事会も設置し、現場の意見が上層部に伝わりやすい体制を構築し、2015年度も精力的な活動を展開いたしました。また、2015年10月に発生した第4種踏切道での軽自動車との列車衝突事故は車両通行を抑止する為、各関係機関、地域の協力で注意看板を設置し広報活動を行いました。



(4種踏切注意看板設置)

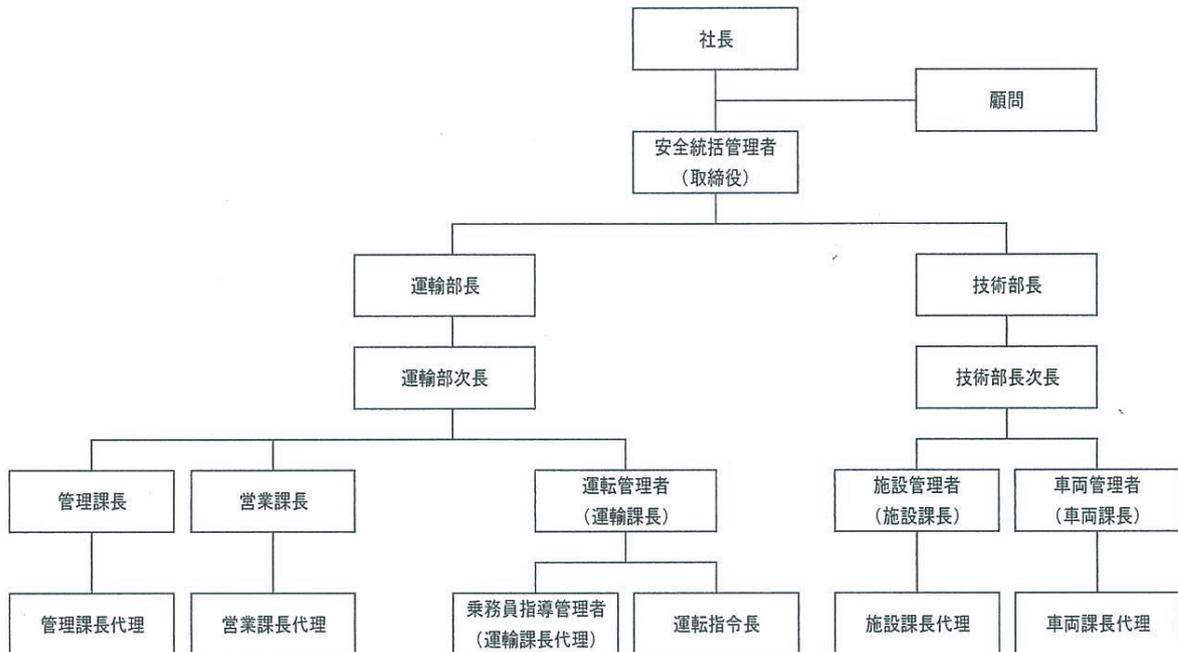


(安全目安箱)

5. 安全管理体制

(1) 安全管理組織

2006年10月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築して運用いたしました。



(2) 各管理者の役割

役 職	役 割
社 長	輸送の安全に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者 取締役	輸送の安全に関する業務を統括する。
運転管理者 運輸課長	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。

乗務員指導管理者 運輸課長代理	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の保持に関する事項を管理する。
施設管理者 施設課長	安全統括管理者の指揮の下、施設に関する事項を統括する。
車両管理者 車両課長	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
技術部長	安全統括管理者の指揮の下、施設及び車両に関する事項について、相互の部門間の整合性を確認するとともに、輸送の安全の確保をするため、各部門を統括管理する。
技術部次長	技術部長の指揮の下、施設及び車両に関する事項を掌握し、運行計画との整合性を検証し統括する。
運輸部長	安全統括管理者の指揮の下、輸送業務の実施及び管理方法を確認し、輸送の安全の確保に必要な事業計画に関する事項を統括する。
運輸部次長	運輸部長の指揮の下、安全対策及び事故防止に関する事項を統括する。

6. 地域の皆様へお願い

(1) 踏切事故防止にご協力下さい。

2015年度においても、踏切での一旦停止及び左右の安全確認を怠ったことが原因による踏切支障等が14件、踏切遮断桿の折損等が1件発生しています。これらにつきましては、いずれも重大事故には至っていませんが、このような状況は列車の定時運行に影響を及ぼし、利用して頂く乗客の皆様にご迷惑を与えると共に、踏切を横断される方の死傷事故にも繋がる行為です。踏切では必ず一旦停止され、安全を確認の上お渡りください。



(踏切事故防止キャンペーン*街頭指導*)



(踏切事故防止キャンペーン*高齢者講習*)



(全方向型踏切警報機)



(踏切非常ボタン)

(2) 線路でのいたずら防止にご協力下さい。

線路内での置石や投石などのいたずらは、刑法第十一章「往来を妨害する罪」に問われます。線路施設内には入らないよう、また障害を発見した場合は直ちにご連絡をお願い致します。
(一畑電車 運輸部運輸課 0853-62-3021)

(3) 踏切監視カメラの設置

交通量が多く、踏切内での立ち往生事象、及び遮断桿折損事故等が多く発生する踏切には、踏切監視カメラを設置し、列車との衝突事故を未然に防止するシステムを導入いたしました。(大津里道踏切・武志農道踏切・稲岡2踏切・西浜佐陀県道踏切)



(4) AED（自動体外式除細動器）の設置

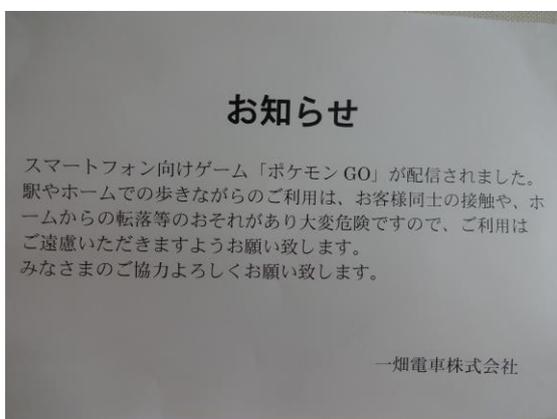
当社では、AED（自動体外式除細動器）を電鉄出雲市駅、出雲大社前駅、松江しんじ湖温泉駅に設置いたしました。

(5) 防犯カメラの設置

全ての有人駅、無人駅については順次防犯カメラを設置し犯罪を抑止いたします。

(6) ホーム上の安全確保

ホームからの転落事故防止のため、内方線付点状ブロックの設置を順次進めてまいります。又、歩きスマホによる転落事故防止のための注意喚起も行ってまいります。皆様のご協力をお願いいたします。



(ホーム上、携帯ゲームアプリ使用注意喚起)



(内方線付点状ブロックの設置)

(7) こども110番の駅

当社の有人駅では、「こども110番の駅」の取組みを行っています。こどもが助けを求めてきた場合、こどもを保護し、こどもに代わって110番通報を行います。また、被害にあった時だけではなく、日頃から安全・安心への配慮と安全・安心な地域づくりに貢献するとともに、こどもにとって楽しくフレンドリーな優しい駅を目指しています。

実施駅・・・松江しんじ湖温泉、一畑口、雲州平田、川跡、電鉄出雲市、出雲大社前各駅

(8) ご意見箱の設置

当社では、利用者の皆様のお声をお聞きするために、有人駅（8駅）にご意見箱を設置し安全及びサービスの向上に反映させています。皆様からのご意見をお寄せください。

7. お問い合わせ先

安全報告書へのご感想、当社への取組みに関するご意見は下記までお寄せ下さい。
皆様からのご意見お待ちしております。

一 畑 電 車 株 式 会 社	
TEL 0853-62-3383	FAX 0853-62-3384
E-mail tetsudou@densya.ichibata.co.jp	
■ 月～金 9:00～17:00 (年末年始を除く)	